

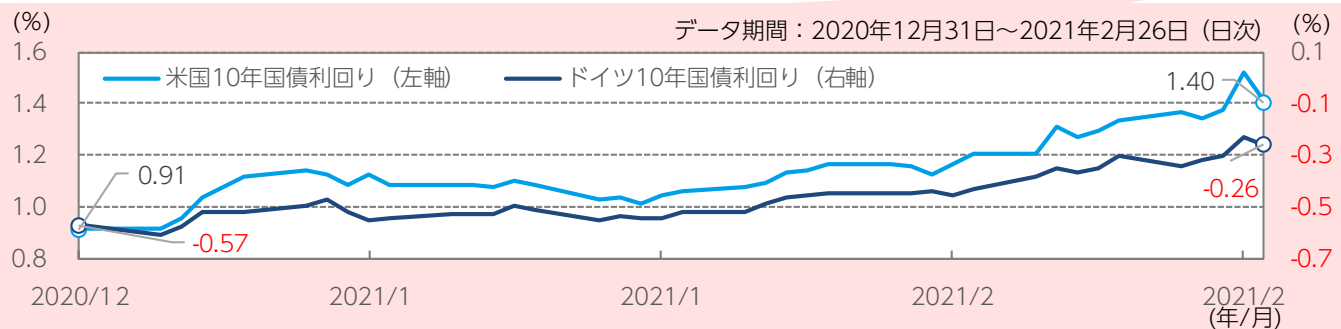
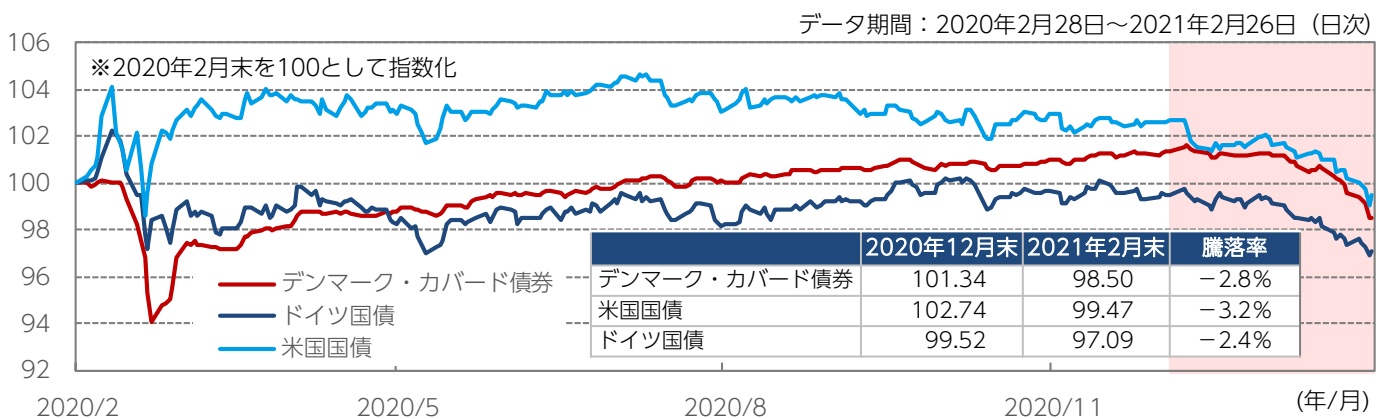
金融市場NOW

足元の金利上昇とデンマーク・カバード債券の状況

欧米の金利上昇を受け、足元のデンマーク・カバード債券は軟調推移

- ▶ 米国の大規模な追加経済対策発動による経済活動の正常化期待や、経済対策発動にともなう国債増発懸念などから、2021年年明け以降、米長期金利（米国10年国債利回り）が上昇しています。米長期金利（米国10年国債利回り）が上昇した流れを受け、欧州長期金利（ドイツ10年国債利回り）も上昇しています。
- ▶ 欧米の金利上昇の影響を受け、デンマーク・カバード債券も軟調な推移となっています。
- ▶ デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大していないことから、足元のデンマーク・カバード債券の下落は、欧米を中心とした世界的な国債利回りの上昇が主な要因とみられます。

図表：欧米の国債とデンマーク・カバード債券の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 デンマーク・カバード債券：ニクレディットDMBトータルリターンインデックス(現地通貨ベース)
 米国国債、ドイツ国債：ブルームバーグ・パークレイズ各国国債インデックス (トータルリターン、現地通貨ベース)

当面の金利の見通しについて

- ▶ 世界的な金利上昇は、米国債の入札が行われ、大規模な追加経済対策の成立が見込まれる3月中旬ぐらいまで続く可能性がありそうです。当面の米国金利の上限目途は、世界的に金利が低下する前の2020年2月中旬頃の水準である1.5%台が目安となりそうです。
- ▶ ワクチン普及による世界的な景気回復への期待が高まる中、当面、デンマーク・カバード債券は国内外のマクロ環境の影響を受けやすい状況が続くものとみられます。経済活動正常化への期待などから欧米の長期金利が上昇することとなれば、デンマーク・カバード債券は一時的に変動性が高まることも想定されます。
- ▶ しかし、パウエル米連邦準備制度理事会議長は、金融緩和姿勢の継続を繰り返し強調しており、足元の米長期金利の上昇は、景気回復に対する市場の楽観的な見方を反映したものであるとし、静観する姿勢を示しています。また、ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁は、『ECBは長期金利の動きを注視している』と金利上昇をけん制する発言をしていることなどから、今後の欧米の長期金利の上昇は限定的なものに留まると予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>